

蛍光灯、実質製造禁止へ 20年度めど、LEDに置換

高木真也、南日慶子 2015年11月26日05時00分

シェア 15609 ツイート list 555 ブックマーク スクラップ メール 印刷

続きから読む



3種類の電球には長所と短所がある

政府は、エネルギーを多く消費する白熱灯と蛍光灯について、国内での製造と国外からの輸入を、2020年度をめどに実質的に禁止する方針を固めた。省エネ性能が高い発光ダイオード（LED）への置き換えを促す狙いだ。

安倍晋三 首相が26日に財界幹部を集めて官邸で開く「官民対話」で、省エネ対策の一環として表明する。今月末にパリで始まる国連気候変動枠組み条約 締約国会議（COP21）に向けて、日本の温室効果ガス削減への取り組みを具体化する狙いもあるとみられる。

政府はLEDと蛍光灯それぞれについて、品目ごとに省エネ性能が最も優れた製品の基準を満たさないと製造や輸入をできなくする「トップランナー制度」で規制してきた。来夏をめどにつくる省エネ行動計画に、照明についての品目を一つにまとめることを盛り込む。LED並みの省エネを達成するのが困難な白熱灯と蛍光灯は、事実上、製造や輸入ができなくなる見通しだ。来年度にも省エネ法の政令を改める方針。

電球で比べると、LED電球の消費電力は、60ワット形相当で白熱電球の約8分の1で、電球型の蛍光灯よりも約3割低い。政府は、30年度の温室効果ガス排出量を「13年度比26%減」とする削減目標の前提として、家庭などで使われている照明のほぼ100%を、30年度までにLEDにする目標を掲げるが、割高な価格がネックとなってLEDの比率は12年度で9%にとどまった。

白熱灯と蛍光灯の製造と輸入ができなくなれば、国内市場で在庫がなくなった時点で、LEDへの置き換えが急速に進み、量産効果でコストが下がることも期待される。ただ、割安な電灯を買う選択肢がなくなることになり、LEDの価格が下がらなければ、家計や企業の重荷になる可能性もある。

電球型のLEDが登場したのは09年前後。11年の東日本大震災後に省エネ意識が高まって一気に普及した。日本の大手電機メーカーでは、東芝ライテック、パナソニック、日立アプライアンスが一般的な白熱電球の生産をすでに終えている。電球型の蛍光灯も、東芝ライテックが今年3月に生産をやめるなど、LED電球への切り替えが進んでいる。東芝ライテックによると、一般的なLED電球の希望小売価格は、09年の発売時に約1万円だったが、いまは2千～3千円台まで下がり、「店頭の販売価格はもっと安いだらう」（広報担当者）という。

蛍光灯が中心だった天井用照明でも、10年ごろからLEDが売り出されている。ただ、照明器具そのものをLED対応に切り替える必要があることから、電球ほどはLED化が進んでいない。LEDへの移行を後押しする支援策を求める声が出る可能性もある。（高木真也、南日慶子）

関連ニュース

パナソニック、全照明器具LED化 2019年までに

アンケート 中学校の部活動

中学校の部活動についてどう思いますか？ ぜひご回答ください



紙面にプラス デジタル限定

いま話題の オンライン学習サービス

スタディサプリ

朝日新聞デジタル 限定キャンペーン

1か月無料

4/10 (日) まで

広告特集 企画制作：朝日新聞社広告局

PR 注目情報

- わが家、意外と高いかも？**
約60秒簡単入力⇒不動産無料査定で概算価格をチェック！<ノムコム>
- 生涯未婚率が急上昇？！**
だからこそ、結婚相談所のススメ。今すぐ無料で資料を一括請求！

適替わりで求人情報をお届けします！ 朝日新聞とマイナビ転職の厳選情報一覧

日本では見られない大自然の超絶景？ 世界最大級の一枚岩ワルルの魅力…

大きな声出して今も「絶対調」 木佐彩子さんが聞く中畑清さんの健康法

オンライン学習サービスをうまく使って 英語学習も完璧【今なら1か月無料】

子どもを花粉から守るには… レイコップで叶える布団の花粉対策

忙しい主婦はロボット掃除機を賢く活用 充実した暮らしのための秘訣を紹介！

朝日新聞官邸クラブ 公式ツイッター